

【ロシア】

3-4 月の市場動向トピックス

- 2021 年 3 月の訪日ロシア人数は、対 2019 年同月比 99.2%減の 90 人であった。
- 2021 年 4 月の訪日ロシア人数は、対 2019 年同月比 99.3%減の 100 人であった。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本政府による上陸拒否、14 日間の隔離・PCR 検査受診等、査証の効力停止等の対象となっている。なお、一部の州が、2021 年 3 月 21 日以降、順次、当該国内で変異ウイルスの感染者が確認されたと当該政府当局が発表している国・地域として、当分の間、誓約書の提出等、検疫強化の対象となっている。自国民の日本からの入国については、帰国前 3 日以内に指定されたポータルサイトへの PCR 検査の陰性結果を登録した場合を除き、14 日間の隔離が義務付けられている。日本への直行便は、大幅な運休・減便となっている。

3-4 月の主なプロモーション活動

◆ 訪日観光集中ウェビナーの実施

3 月 2 日、16 日、23 日と 3 回にわたり訪日ウェビナーを実施した。各日程で武家文化、茶道、手頃楽しめる訪日旅行等のテーマを設定し、ライブ視聴合計 617 人、アーカイブ視聴合計 265 回(3 月 23 日現在)となった。JNTO 職員からのプレゼンテーションの他、茶道や日本庭園の専門家等をゲストスピーカーに招き、理解を深めるための Q&A をおろまぜ、参加者の関心を惹起した。



◆ 訪日スキーセミナーの実施

3 月 11 日、ヘリスキーで有名なカムチャッカ半島の中心都市ペトロパブロフスク・カムチャツキーにて、現地のスキーウェアストアと連携し、スキーのキーパーソンを対象とした訪日スキーセミナーを実施した。参加者はスキーヤー、スノーボーダー 33 人。JNTO レッブによる日本の主要スキー場や雪質、温泉、アフタースキー等のプレゼンテーションを実施し、質疑応答を行った。またカムチャツカは 2019 年まで夏のチャーター便が催行され、スキー以外にも夏のアウトドアに関する関心が高いため、マウンテンバイクや山歩き等の内容をプレゼンテーションに加えた。訪日歴のある参加者も多く、国境さえ開いたらすぐにでも日本に行きたいという声も多く聞かれた。



◆ Luxury Travel Mart Moscow Spring (LTM 2021) の出展

4 月 22 日～23 日、モスクワ市内のホテルにて、オフライン形式で開催された。LTM は年に 2 回(春・秋)にモスクワで開催され、ロシア及び独立国家共同体(CIS)*諸国で最大級の富裕旅行に特化した BtoB の商談会。今回の出展者は 152 社、初日の Hosted Buyer 数は 380 人、2 日目は 450 名。日本は JNTO が単独出展。参加者の関心は、入国制限の緩和時期、またオリパラ後の見通しについての関心が高かった。



*ロシア、カザフスタン、タジキスタン、ウズベキスタン、キルギス、ベラルーシ、アルメニア、アゼルバイジャン、モルドバの 9 か国